まい花火募金

寄付者名（敬称略）

松本武久（朝代）松本真奈美（朝代）海上自衛隊舞鶴海曹会（10口）掃海艇「ひめしま」（20口）舞鶴航空基地隊（10口）舞鶴整備補給分遣隊（10口）舞鶴航空分遣隊（10口）中塚久雄（余部下、2口）山本まさ（北吸）山本忠昭（北吸）水嶋範夫（紺屋、2口）松山歌子（溝尻長谷山）松山義治（溝尻長谷山）みずなぎ学園職員親睦会（鹿原、41口）福祉センター・レストラン二条（浜、10口）河村光信（松陰、3口）河村美也子（松陰）河村将光（福来）安達渉（堀、5口）舞鶴ヨット協会（20口）芦田美知子（上安久）溝口八郎（上安久）渡辺妙子（上安久）松浪泰三（上安久）渡壁芳房（上安久）櫻井道男（大丹生、2口）前田紀代子（3口）中山誠（余部下、3口）荒賀敬（北吸、3口）木下文子（矢之助町、2口）濱野貞夫（矢之助町、3口）増山寛一（西吉原）増山貞子（西吉原）増山静江（西吉原）白浜台自治会（10口）畠中茂治（溝尻、5口）高橋省之（森本町）高橋美智子（森本町）村尾昌治（高野由里）井関成親（堀谷）松尾矢忠晄（市場）和（市場来）山口直樹（倉谷）漁濱足立正喜明（森本町土）杉井坂本雅文（森本町）村尾隆夫（四方本町）

子らに楽しくルールの大切さ

28日に「交通安全フェス」

秋の全国交通安全運動（二十一～三十日）の一環として、子供たちに楽しみながら交通ルールの大切さを知ってもらうことを狙いとした「2003交通安全フェスティバルin舞鶴」が、二十八日午前九時半から上安の舞鶴自動車学校で開催される。

舞鶴市交通対策協議会、財団法人舞鶴交通安全協会、舞鶴東、西交通安全協会主催。市内の小学校低学年児童や幼稚園児ら約四百人が参加する。

交通安全フェスティバルでは、開会セレモニーに続いて、午前九時四十五分から特設ステージで、爆竜戦隊アバレンジャーのショーが上演される。この後、遊戯用ゴーカートに子供たちが乗って教習コースを走行。コース内では横断歩道、信号機での交通ルールやマナーについて指導する「こども交通教室」が開かれる。また、午前十時四十五分から同十一時四十五分まで、京都府警平安騎馬隊の馬に子供たちが乗るコーナーもある。

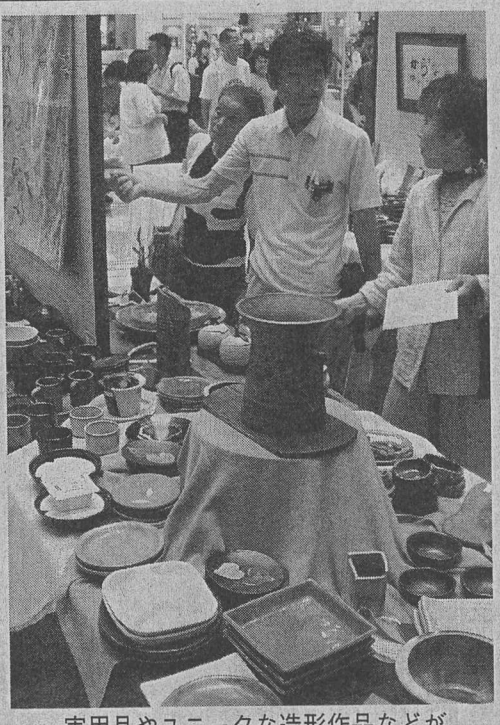
交通安全フェスのちらし

会場内にはサービスコーナーを設けて、子供や保護者らに交通安全に関する広報資料を配付して、交通安全意識の高揚を図るほか、ジュースやお茶、軽食を提供する。

問☎75・1613、舞鶴交通安全協会内のフェスティバル事務局。

アート活動の豊かな魅力伝える

みずなぎ学園　手しごとのかたち展


実用品やユニークな造形作品などが並んだ会場

鹿原の知的障害者授産施設「みずなぎ学園」が十三、十四日、南浜町のショッピングセンター「らぽーる」で、「第二回手しごとのかたち展」を開催した。障害をもつ利用者たちが制作した絵や陶芸、書など多くの作品を展示・販売。自由な発想のアート活動と作品発表を通して、自己表現と社会参加をし、来場者もその作品の豊かな魅力を楽しんでいた。

六十四人が利用する同園授産部は、陶芸などの自主製品作りのほか、独自活動として書や絵も制作。それらの作品を市民に知ってもらい、売り上げを利用者の賃金にむすびつけるため同展を開いた。陶芸では実用品のほか、羊や人をかたどったユニークな造形作品も。鮮やかな色使いの絵や複雑な形の切り絵、微細な縫いの点の集まった刺しゅうなども並んだ。

これまで利用者は一つのジャンルだけに固定して作業していたが、いまはいろんな作品づくりをすることで、自分の得意な部門で持ち味を発揮し、周囲の人も刺激を受けるなど、いい影響が作品の表現にも及んでいる。授産部主任の福谷寿子さんは「制作中はすごい集中力で目も輝いています。今回は来場した皆さんから温かい反響を寄せてもらい、感動していました」と話していた。